

【資料】

教科種目名《美術（美術）》

発行者の略号	開隆堂	書名	美術
教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連			<p>教育基本法に示されている「真理を求める態度」に関連して、「他人と違っていることや同じであること」が記載され、人を理解することについて取り上げられている。</p> <p>教育基本法に示されている「伝統と文化の尊重」に関連して、国も時代も異なる広重の「東海道五十三次之内庄野」とブリュゲルの「雪中の狩人」が、構図や主題を比較するための題材として記載されている。</p> <p>学校教育法に示されている「基礎的な知識及び技能」に関連して、道具の安全な扱い方や、基本的な知識や色彩についての理解が巻末に記載されている。また、基礎的な学習方法が図で示され、創作活動の参考となるように取り上げられている。</p> <p>学習指導要領の美術科の目標に示されている「美術の創造活動の喜び」及び「美術文化についての理解」に関連して、作品についての表現方法の解説や、鑑賞のきっかけとなるような問いかけが題材として取り上げられている。</p> <p>学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「言語活動」に関連して、作品の説明ボードや、紹介カードを活用して、自分の作品を紹介する題材が示されている。また、言葉で心の中を整理し、資料を集める活動が取り上げられている。</p> <p>*詳細は、資料（美術 - 4 ~ 美術 - 5）に記載。</p>
かながわ教育 ビジョンとの 関連			<p>「思いやる力」の共生に関連して、自他の敬愛や協力を促すための話し合い活動や、他民族、他文化を再認識させるプロジェクトなどが示されている。</p> <p>「たくましく生きる力」のコミュニケーション能力に関連して、共同制作やブレインストーミング、環境デザインの工夫が示されている。</p> <p>「社会とかかわる力」の生きることに関連して、美術の力を生かして社会で働いている方々の話から、美術を通して社会とかかわることが示されている。</p>
内 容			<p>小学校の図画工作の学習とのつながりについては、美術の学習の目的として、自分の思いを伝え、他の人の表現を理解しながら学んでいくことが示されている。</p> <p>表現の領域において、題材ごとに学習のねらいと観点別の振り返りが示され、生徒作品や活動の様子、作者の言葉が記載されている。</p> <p>鑑賞の領域において、原寸大の作品の提示や、鑑賞の学習の導入やきっかけとなる「問いかけ」が設けられ、表現の学習との関連などが取り上げられている。</p> <p>〔共通事項〕「形や色彩、材料、光などの性質やそれらがもたらす感覚を理解し、それらの特徴などを基に、対象のイメージをとらえること」について、各題材の学習の目的が文章で示されている。</p> <p>神奈川に関連することとして、松本竣介「立てる像」など、県内の美術館所蔵の作品や、「逗子メディアアートフェスティバル2012」などの取組が示されている。</p> <p>*詳細のデータは、資料（美術 - 7 ~ 美術 - 8）に記載。</p>
構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁			<p>判型はA4判で、1年生用と2・3年生用の2冊。1題材2ページ～8ページで構成されている。</p> <p>「この教科書は環境に配慮した用紙やインキを使用しています。」と表記されている。</p> <p>*詳細のデータは、資料（美術 - 8）に記載。</p>
表記・表現			<p>各題材のページの左上に題材の内容が色と文字で示されている。</p> <p>題材ごとに4観点ごとの身につけたい力が、「振り返り」として示されている。</p> <p>基礎的な技法や知識、題材に関する知識や情報、鑑賞のきっかけとなる問いかけ、安全や注意に関する内容が、それぞれ囲みやマークを用いて示されている。</p> <p>*詳細のデータは、資料（美術 - 8）に記載。</p>

【資料】

教科種目名《美術（美術）》

発行者の略号	光村	書名	美術
教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連	<p>教育基本法に示されている「真理を求める態度」に関連して、中学校美術の学びとして、感じたことを話し合い、自分を見つめることについて取り上げられている。</p> <p>教育基本法に示されている「伝統と文化の尊重」に関連して、アイヌと沖縄の民族衣装や文様を、北と南の風土から比較する題材や、日本とアジアの伝統芸能の仮面を比較する題材が記載されている。</p> <p>学校教育法に示されている「基礎的な知識及び技能」に関連して、道具の安全な扱い方や、材料の特徴について巻末に記載されている。また、作者の言葉や生徒の具体的な活動が示され、創作活動の参考となる題材として取り上げられている。</p> <p>学習指導要領の美術科の目標に示されている「美術の創造活動の喜び」及び「美術文化についての理解」に関連して、日本及び諸外国の作品の表現の特徴を原寸大で鑑賞する題材が取り上げられている。</p> <p>学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「言語活動」に関連して、詩の言葉と美術作品を関連づけた題材が示されている。また、作品を鑑賞し、互いに話し合う活動や、作品についてレポートにまとめる活動が取り上げられている。</p> <p>*詳細は、資料（美術 - 4～美術 - 5）に記載。</p>		
かながわ教育 ビジョンとの 関連	<p>「思いやる力」の共生に関連して、自他の敬愛や協力を促すための話し合い活動や、生命観や躍動感を捉えた題材などが示されている。</p> <p>「たくましく生きる力」のコミュニケーション能力に関連して、共同制作やワークショップの取組が示されている。</p> <p>「社会とかがわる力」の生きることに関連して、自然物の素材感やポスターの制作など、美術を通して社会とかがわることが示されている。</p>		
内 容	<p>小学校の図画工作の学習とのつながりについては、図画工作での学習の振り返りとともに、美術の時間に学ぶ内容や見通しが示されている。</p> <p>表現の領域において、意識づけのための問いかけや、題材ごとの学習の目標が観点別に示され、生徒作品や活動の様子、作者の言葉が記載されている。</p> <p>鑑賞の領域において、鑑賞のためのきっかけが設けられ、作品の表現の特徴や、詩の言葉と美術作品を関連づけた題材などが取り上げられている。</p> <p>〔共通事項〕「形や色彩、材料、光などの性質やそれらがもたらす感覚を理解し、それらの特徴などを基に、対象のイメージをとらえること」について、題材ごとに「Q」（問いかけ）が示されている。</p> <p>神奈川に関連することとして、三沢厚彦「Animal 2007-03」など県内の美術館所蔵作品や、相模原市の「キッズゲルニカプロジェクト」などの取組が示されている。</p> <p>*詳細のデータは、資料（美術 - 7～美術 - 8）に記載。</p>		
構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	<p>判型はA4判で、1年生用と2・3年生用の2冊。1 題材1ページ～8ページで構成されている。</p> <p>「この教科書は環境に配慮した紙、植物油インキを使用しています。」と表記されている。</p> <p>*詳細のデータは、資料（美術 - 8）に記載。</p>		
表記・表現	<p>各ページの左上に題材や資料の領域が色分けしたインデックスで示されている。</p> <p>題材ごとに4観点ごとの身につけたい力が、「目標」として示されている。</p> <p>発想や構想を広げるためのヒント、学習を深める内容、安全についての注意事項、道徳の学習と関連する内容などが、それぞれ囲みやマークを用いて示されている。</p> <p>*詳細のデータは、資料（美術 - 8）に記載。</p>		

【資料】

教科種目名《美術（美術）》

発行者の略号	日文	書名	美術
教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連	教育基本法に示されている「真理を求める態度」に関連して、表現を豊かにすることが作者の制作場面を紹介することによって取り上げられている。 教育基本法に示されている「伝統と文化の尊重」に関連して、日本と西洋の美術文化の交流が取り上げられ、葛飾北斎の「神奈川沖波裏」と「凱風快晴」が原寸大の題材として記載されている。 学校教育法に示されている「基礎的な知識及び技能」に関連して、道具の安全な扱い方や、基本的な知識や色の性質などの特徴について巻末に記載されている。また、作者の言葉や解説が示され、創作活動の参考となるように取り上げられている。 学習指導要領の美術科の目標に示されている「美術の創造活動の喜び」及び「美術文化についての理解」に関連して、時代や地域によって異なる作品が掲載され、現代作家の作品が制作場面とともに取り上げられている。 学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「言語活動」に関連して、物の動きや表情に着目し、考えたことを話し合う活動が示されている。また、作品を鑑賞し、レポートにまとめるなどの活動が取り上げられている。 *詳細は、資料（美術 - 4 ~ 美術 - 5）に記載。		
かながわ教育 ビジョンとの 関連	「思いやる力」の共生に関連して、自他の敬愛や協力を促すための話し合い活動や、生命観を感じる動きやしぐさを捉えた題材などが示されている。 「たくましく生きる力」のコミュニケーション能力に関連して、共同制作やプレゼンテーションでの取組、ピクトグラムを用い情報の国際化などが示されている。 「社会とかかわる力」の生きることに関連して、未来のデザインについて取り上げ、美術を通して社会とかかわることが示されている。		
内 容	小学校の図画工作の学習とのつながりについては、図画工作での学習の振り返りとともに、目的や意図を持ち、環境を豊かなものにする美術の活動が示されている。表現の領域において、題材ごとの学習のねらいが観点別に示され、学習内容のポイント、生徒作品や活動の様子、作者の言葉が記載されている。 鑑賞の領域において、鑑賞のためのねらいが設けられ、鑑賞の活動を主にした学習内容などが取り上げられている。 〔共通事項〕「形や色彩、材料、光などの性質やそれらがもたらす感覚を理解し、それらの特徴などを基に、対象のイメージをとらえること」について、各題材の学習内容の「POINT」が、囲みによって示されている。 神奈川に関連することとして、岡本太郎「跳ぶ」など県内の美術館所蔵作品や、相模原市の「造形さがみ風っこ展」などの取組が示されている。 *詳細のデータは、資料（美術 - 7 ~ 美術 - 8）に記載。		
構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	判型は、A4判を基本とし、横幅をやや広げたサイズで、1年生用と2・3上、2・3下の3冊。1題材2ページ~4ページで構成されている。 「この教科書は植物油インキと再生紙を使用しています。」と表記されている。 *詳細のデータは、資料（美術 - 8）に記載。		
表記・表現	各ページの左上に題材や資料の領域が色分けしたインデックスで示されている。 題材ごとに4観点ごとの学習目標が、「学びのねらい」として示されている。 学習と関連する内容が掲載されているページや、安全に関する注意点や、道徳の学習と関連する内容などが、それぞれマークを用いて示されている。 *詳細のデータは、資料（美術 - 8）に記載。		

【資料】

教科種目名《美術（美術）》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連
教育基本法第2条及び第6条第2項の内容

第2条 一 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。

開隆堂	様々な題材を通じて知識や技能を習得させるとともに、美術を通して学ぶこととして、他人と違っていること、他人と同じであることが記載され、人を理解することについて取り上げられている。
光村	様々な題材を提示し知識や技能を習得し、中学校美術の学びとして、中学校卒業後の生涯にわたって、感じたことを話し合い、自分を見つめることと、谷川俊太郎の詩とともに取り上げられている。
日文	美術作品や鑑賞との出会いを意識した題材を取り上げて、知識や技能を習得し、美しいと感じ、表現し、それを生きる喜びとし、表現を豊かにすることが作者の制作場面を紹介するによって取り上げられている。

二 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。

開隆堂	自己を見つめ、自分らしさとは何かを考えさせる題材や、美術と職業、美術と生活の関連を取り上げ、美術の学習を通して身につける力が、生活の中で生かされていることなどが取り上げられている。
光村	自己を見つめ、今を生きる自分、なりたい自分をテーマとした題材や、毎日の生活の中で使われているものが、美術の学習と関わりを持っている題材であることなどが取り上げられている。
日文	自己を見つめ将来の自分の夢を考える題材や、デザインは未来に向けた新しい提案であることや、豊かな暮らしの創造であることなどが取り上げられている。

三 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。

開隆堂	気持ちを伝え合ったり、コミュニケーションを広げるためのデザインや、学校や地域などでの共同制作などの題材が取り上げられて、美術の活動を通じた社会参画が示されている。
光村	より多くの人をつなぐことや、人々の願いを叶えること、現代社会が抱える様々な問題を解決することなどを目的とした多様なデザインの題材を通じて、社会の発展へ寄与することが示されている。
日文	人と人の交流を深めることに加え、地域の課題を解決することや、高度な技術で豊かな未来をめざすデザインの題材などを取り上げ、社会をつくり変える美術の力に関心を持つように示されている。

四 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。

開隆堂	身近な自然や動植物を観察し、発見した色や形を、素材を使って生き生きとした生命あふれる造形として表現する題材が取り上げられている。
光村	普段から見慣れた身近な自然物を観察し、その素材から発想したり、見方を変えて発見したことから構想し、表現につながる題材が取り上げられている。
日文	自然物から発想した造形や、動植物の観察を促す題材などの他、自然の光を表現することや、自然と共生するデザインなどの、題材が取り上げられている。

五 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

開隆堂	国も時代も異なる広重の「東海道五十三次之内庄野」とブリューゲルの「雪中の狩人」が、構図や主題を比較するための題材として記載されている。また、東西の美術の歴史が人の表情という共通項によって、年表で示されている。
光村	我が国の伝統文化として、アイヌと沖縄の民族衣装や文様を、北と南の風土から比較する題材や、日本とアジアの伝統芸能の仮面を比較する題材が記載されている。また、東西の美術の歴史が比較できるように、年表で示されている。
日文	墨の性質や技法の特徴を感じ取る題材や、日本と西洋の美術文化の交流が取り上げられ、葛飾北斎の「神奈川沖波裏」と「凱風快晴」が原寸大の題材として記載されている。また、日本美術の展開と世界との交流が、年表で示されている。

第6条 2 前項の学校においては、教育の目標が達成されるよう、教育を受ける者の心身の発達に応じて、体系的な教育が組織的に行われなければならない。この場合において、教育を受ける者が、学校生活を営む上で必要な規律を重んずるとともに、自ら進んで学習に取り組む意欲を高めることを重視して行われなければならない。

開隆堂	学校行事や学校生活を創造するためのデザインが題材として取り上げられている。また生徒自らが選択し、様々な題材の学習に活用できるよう技法や色彩や美術史の情報が記載されている。
光村	学校生活や一日の生活の中で、美術が生かされていることが取り上げられている。また生徒自らが色や形や素材や美術史などの知識を得て選択し、それを様々な題材に活用できるような情報が記載されている。
日文	学校生活を豊かにするためのデザインや、クラスや学年で共同でデザインすることの意義を取り上げている。また生徒自ら選択し、色や形や技法の知識を得て、様々な題材に活用できるように記載されている。

学校教育法第46条の内容

第46条 前項の場合においては、生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない。

開隆堂	基礎的な技能として、道具の安全な扱い方や、基本的な知識や色彩についての理解が巻末に記載されている。また、基礎的な学習方法が図で示され、創作活動の資料となるように取り上げられている。
光村	基礎的な技能として、道具の安全な扱い方や、材料の特徴について巻末に記載されている。また、作者の言葉や生徒の具体的な活動が示され、創作活動の資料となるように取り上げられている。
日文	基礎的な技法として、道具の安全な扱い方や、基本的な知識や色の性質などの特徴について巻末に記載されている。また、作者の言葉や解説が示され、創作活動の資料となるように取り上げられている。

学習指導要領の教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

開隆堂	日本及び諸外国の作品についての表現方法の解説や、鑑賞のきっかけとなるような問いかけが題材として取り上げられている。
光村	日本及び諸外国の作品の表現の特徴を原寸大で鑑賞することで、作者の思いや願い、筆の跡などを感じ取る題材が取り上げられている。
日文	日本及び諸外国の作品について、時代や地域によって異なる作品が掲載され、現代作家の作品が制作場面とともに取り上げられている。

学習指導要領の教育内容の主な改善事項に関連する内容

言語活動の充実

開隆堂	作品の説明ボードや、紹介カードを活用して、自分の作品を紹介する題材が示されている。また、言葉で心の中を整理し、資料を集める活動が取り上げられている。
光村	詩の言葉と美術作品を関連づけた題材が示されている。また、作品を鑑賞し、互いに話し合う活動や、作品についてレポートにまとめる活動が取り上げられている。
日文	物の動きや表情に着目し、考えたことを話し合う活動が示されている。また、作品を鑑賞し、レポートにまとめる活動が取り上げられている。

伝統や文化に関する教育の充実

開隆堂	日本の伝統的な作品が取り上げられ、日本の美術と西洋の美術が人の表情という共通項による比較が示されている。また、国も時代も異なる作品が、構図や主題を比較するための題材として記載されている。
光村	日本の伝統的な作品が取り上げられ、日本とアジアの文化、日本の美術と西洋の美術の比較が示されている。また、地域による伝統文化の比較が記載されている。
日文	日本の伝統的な作品が取り上げられ、日本とアジアの文化、日本の美術と西洋の美術の比較が示されている。また、受け継がれてきた伝統工芸が、作家の制作場面とともに記載されている。

道徳教育の充実

開隆堂	道徳の学習と関連する題材では、他者理解や人とのつながり、命や平和について考える作品が取り上げられている。
光村	道徳の学習と関連する題材では、思いやりや伝統文化、自然や人権などについて考える作品が取り上げられている。
日文	道徳の学習と関連する題材では、思いやりや郷土愛、個性の尊重などについて考える作品が取り上げられている。

体験活動の充実

開隆堂	地域の施設から依頼された共同制作での取組や、伝統工芸制作の体験活動から、デザインや技法、その作品例などが示されている。
光村	美術館での様々な体験活動や、様々な技法とその作品例を掲載し、その活動が社会とのかかわりの中で生かされることが示されている。
日文	アートイベントやプロジェクトでの体験活動や、幅広い技法とその作品例を掲載し、心豊かに生きることのかかわりが示されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

[思いやる力] 他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。

(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、男女平等教育、道徳教育など)

開隆堂	自他の敬愛や協力を促すための話し合い活動や、他民族、他文化を再認識させるプロジェクトが示されている。また、「つながるデザイン」としてユニバーサルデザインが取り上げられている。
光村	自他の敬愛や協力を促すための話し合い活動や、生命観や躍動感を捉える題材が示されている。また、「みんなのためのデザイン」としてユニバーサルデザインが取り上げられている。
日文	自他の敬愛や協力を促すための話し合い活動や、他民族、他文化を再認識させるプロジェクトが示されている。また、「やさしさのデザイン」としてユニバーサルデザインが取り上げられている。

[たくましく生きる力] 自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。

(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力など)

開隆堂	共同制作やブレインストーミング、環境デザインの工夫などから、コミュニケーション能力の育成について取り上げられている。また、作品制作の考え方の中で自主・自律の精神を養うことが示されている。
光村	共同制作やワークショップの取組の中で、コミュニケーション能力の育成について取り上げられている。また、詩の言葉と美術作品を関連づけた題材が記載され、たくましく生きる力が示されている。
日文	共同制作やプレゼンテーションの取組の中で、コミュニケーション能力の育成について取り上げられている。また、ピクトグラムを掲載し、情報の国際化や公共の精神について示されている。

[社会とかがわる力] 社会とのかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献できる力を育てる。

(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動など)

開隆堂	日本の風土や暮らしから生まれた、自国の文化への理解について記載されている。また、美術の力を生かして社会で働いている方々の話から、美術を通して社会とかがわるることが示されている。
光村	日本の伝統工芸や絵画表現を中心に、自国の文化への理解について記載されている。また、自然物の素材感やポスターの制作など、美術を通して社会とかがわるることが示されている。
日文	日本文化の継承と新しい文化の創造について、諸外国の文化との違いや共通点に触れて記載されている。また、未来のデザインについて取り上げ、美術を通して社会とかがわるることが示されている。

3 内容

	調査研究事項	開隆堂		光村		日文		
		1年	2・3年	1年	2・3年	1年	2・3年上	2・3年下
1	「表現」に関して、「絵や彫刻など」の活動を取り上げている題材数	13	19	18	22	19	15	12
		32		40		46		
2	「表現」に関して、「デザイン・工芸など」の活動を取り上げている題材数	9	10	16	18	16	11	11
		19		34		38		
3	「鑑賞」を取り上げている題材数	13	30	26	40	24	22	23
		43		66		69		
4	「描く活動」を取り上げている題材数	12	15	19	30	15	11	10
		27		49		36		
5	「つくる活動」を取り上げている題材数	9	14	15	23	13	7	12
		23		38		32		
6	美術文化に対する関心を高める活動を取り上げている題材数	11	29	22	44	25	25	25
		40		66		75		
7	神奈川県に関する事項 (作品等の紹介に「神奈川県」や地名が表記されている数)	0	3	6	10	5	6	4
		3		16		15		

取り上げられている主な材料や用具の種類

調査研究項目	開隆堂		光村		日文		
	1年	2・3年	1年	2・3年	1年	2・3年上	2・3年下
各題材に多く取り上げられている主な材料や用具の種類	紙 木 水彩 日用品 化学素材 ペン等 金属 鉛筆	紙 木 水彩 油絵 粘土 金属 日用品 化学素材 布	紙 木 油絵 粘土 鉛筆 アクリル 焼き物 金属 布	紙 金属 化学素材 油絵 粘土 鉛筆 石 布 日本画等	紙 アクリル 日用品 水彩 鉛筆 油絵 ペン等 木	紙 木 アクリル 金属 日用品 水彩 化学素材 粘土 鉛筆	

3社共通に掲載がある主な作家

イサム・ノグチ、伊藤若冲、ヴァシリイ・カンディンスキー、歌川広重、エミール・ガレ、尾形光琳、岡本太郎、葛飾北斎、クロード・モネ、サルヴァドール・ダリ、雪舟等楊、高村光太郎、田中一光、俵屋宗雪、手塚治虫、パブロ・ピカソ、坂茂、ピエト・モンドリアン、東山魁夷、フィンセント・ファン・ゴッホ、ミケランジェロ・ブオナローティ、ヨハネス・フェルメール、レオナルド・ダ・ヴィンチ

3社共通に掲載がある主な作品

ゲルニカ、源氏物語絵巻、最後の晚餐、秋冬山水図・冬景図、太陽の塔、ダヴィデ像、高松塚古墳壁画、鳥獣人物戯画、風神雷神図屏風、ブロードウェイ・ブギウギ、道、モナ・リザ

作品等の紹介とともに教科書に表記されている地名（日本以外）

開隆堂	光村	日文
フランス、ベルギー、オーストリア、中国、ドイツ、インド、ブータン、アメリカ、オランダ、イギリス、ロシア、イタリア、アイルランド、パチカン市国、メキシコ、スペイン、ブラジル、スイス、韓国、デンマーク、チェコ、ニュージーランド、パキスタン 23カ国地域	フランス、スペイン、アメリカ、中国、イギリス、アイルランド、フィンランド、デンマーク、韓国、ブータン、オランダ、アルゼンチン、ドイツ、イタリア、イラク、ベルギー、メキシコ、スイス、南アフリカ、アフガニスタン、ハンガリー、ルーマニア、ロシア、ギリシャ、ローマ、カンボジア、インド、オーストリア、ノルウェー 29カ国地域	アメリカ、オランダ、フランス、オーストリア、ドイツ、フィンランド、イギリス、マレーシア、イタリア、中国、スイス、ポーランド、エジプト、ベルギー、南アフリカ、スペイン、チェコ、ベネズエラ、ノルウェー、ロシア、カメルーン、トリニダード・トバゴ、インド 23カ国地域

作品等の紹介に「神奈川県」や地名が表記されている作品等

	開隆堂	光村	日文
1年		「昭和6年年賀状」 川上澄生 神奈川県出身 「梅樹扇模様帷子」 女子美術大学美術館蔵 「沖縄の紅型の網干模様」 女子美術大学美術館蔵 「ポスター（伊藤勝一の漢字の感字）」 伊藤勝一 神奈川県出身 「空気の器」 鈴野浩一 神奈川県出身 「公開制作室」 呉亜沙 神奈川県出身	「Washbowl」 曾谷朝絵 神奈川県出身 「梁山泊」 白髪一雄 横浜美術館蔵 「空気の器」 鈴野浩一 神奈川県出身 「サンキュ カード」 ミヤケマイ 神奈川県出身 「用途に合わせてデザインされた木工品」 込山裕司 神奈川県出身
2・3年	「立てる像」・「顔」 松本竣介 神奈川県立近代美術館蔵 「梁山泊」 白髪一雄 横浜美術館蔵 「10年後の僕へ・ノート」 土肥武司・佐々布伸哉 逗子メディアアート フェスティバル	「天使について - フラ・アンジェリコ 函のある」 野中ユリ 神奈川県立近代美術館蔵 「昼と夜」 マウリッツ・コルネリス・エッシャー 横浜美術館蔵 「春の花と虫」 熊田千佳慕 神奈川県出身 「道」 東山魁夷 「Animal2007 - 01」 三沢厚彦 平沢市美術館寄託 「河童像」 川崎市市民ミュージアム蔵 「立てる像」 松本竣介 神奈川県立近代美術館蔵 「鳴る光」 曾谷朝絵 「キッズゲルニカ （平和の扉を開ける鍵）」 神奈川県相模原市 「造形さがみ風っ展」展示 「ヒロシマ・アビールズ」 浅葉克己 神奈川県出身	「どろんこ坊や」 安藤泉 神奈川県出身 「跳ぶ」 岡本太郎 神奈川県岡本太郎美術館蔵 神奈川県出身 「銀河鉄道の夜の イラストレーション」 黒星紅白 神奈川県出身 「Flower」 西沢立衛（SANAA） 神奈川県出身 「モクモクワクワココハマ ヨーヨー」 最上壽之 横浜みなとみらい21 神奈川県出身 「太陽の塔」 岡本太郎 神奈川県出身 「ヒンメリ」 おおくぼともこ 神奈川県出身 「横浜港大さん橋 国際客船ターミナル」 アレハンドロ・サエラ・ポロ ファッシド・ムサヴィ 横浜大橋橋 寄木細工 神奈川県伝統工芸 造形さがみ風っ子展 神奈川県相模原市

4 構成・分量・装丁

			開隆堂		光村		日文		
			1年	2・3年	1年	2・3年	1年	2・3年 上	2・3年 下
1	表現と鑑賞のページ数 （本文中）にしめる割合（％）	表現	21	27	34	40	35	26	23
		鑑賞 （ガイダ ンス・資料 等）	15	28	26	40	24	22	23
2	作品として取り上げられた点数 及び生徒作品数	作家 作品等	32	205	111	292	65	150	124
		生徒作品	100	177	81	116	114	72	70
3	日本の美術文化に関して取り上げられた作家・作品数		37	182	102	266	57	144	115
4	作品、作者等についての解説の数		79	217	75	141	85	100	99
5	総ページ数		164		172		173		
6	24年度版との比較（％）		+13.4		+11		+18.4		
7	巻頭、巻末等の折り込みによる枚数		6		8		12		
8	解説のための写真、図表、挿絵の数		452		703		567		

5 表記・表現

調査研究項目	開隆堂	光村	日文
文章表現や漢字・かなづかい・用語・記号・計量単位・図版などの使用	適	適	適
文字の大きさ・時間・行間・書体など	適	適	適
文章・図版などの割付け	適	適	適